

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和2 年度

市町村名	和光市			
提案事業名	和光100年まちづくりに向けたシビックプライド醸成事業			
事業期間	令和2 年度	～	令和2 年度	
事業の必要性、目的	令和2年10月31日に市制施行50周年を迎えることを機として、これからの50年間を見据えた和光100年まちづくりに向けて、市民のシビックプライドを醸成するため。			
成果指標	(成果を検証する指標) 市ホームページアクセス件数			
	(成果検証の具体的な方法) 市ホームページアクセスの把握			
	(上記の指標を設定した理由) 市HP閲覧数を把握することにより、構成事業を実施し和光市に対してシビックプライドが醸成され、これまで以上に和光市の様々な情報に興味を持つようになったことが確認できるため。			
	(成果の目標値)			
	現状値 (平成30年度1箇 日平均回数)	302,560回	目標値 (令和2年度1箇 日平均回数)	340,000回
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
住民への公表方法及び特記事項	市ホームページ、広報による公表			

【成果指標と構成事業の関連性】

令和2年度 構成事業

構成事業名		概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 桜の森づくりプロジェクト	ハード ソフト 間接補	市民及び事業者等に寄付を募り、それを原資として和光樹林公園内に桜等を植樹したり、植樹イベントを市民参加型で行い、植樹を行う市民等150名の参加を募り、多くの方の参加を得て植樹及び植樹式を挙行することで、シビックプライドを醸成する。	4,472
② シティプロモーション動画制作	ハード ソフト 間接補	文化、景観、行事などの和光の魅力を紹介するPR映像を作成することで、和光市への愛着心が高まる。	3,850
③ 令和版和光の歌作成	ハード ソフト 間接補	令和版の和光の歌を制作する。制作の過程においては、歌詞のフレーズやボーカルなどを市民公募するなど、市民参加を重要視したプロセスとし、市民が愛着を持てる令和版の和光の歌を作成することで、シビックプライドを醸成する。	1,114
	ハード ソフト 間接補		
	ハード ソフト 間接補		
	ハード ソフト 間接補		
	ハード ソフト 間接補		
	ハード ソフト 間接補		

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	目標達成に向け、広く周知するため、ホームページ、広報誌で効果的にPRを行う。
成果指標の達成見込み	当該事業を行うことにより、成果指標の達成が見込める。